

令和3年8月11日

一般社団法人日本保全学会西日本支部主催
2021年度保全技術セミナー
「廃止措置に向けた取り組み（廃止措置の現状とクリアランス）」
の開催について（案内）

日本保全学会西日本支部

拝啓

残暑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は日本保全学会（西日本支部）の諸活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、西日本支部では、下記のとおり講演会を開催することにいたしました。皆様のご参加を賜りたくお願いいたします。

敬具

記

1. 開催趣旨

原子力発電所や研究開発機関において多くの施設が廃止措置に移行することを決定しており、廃止措置について安全を旨として計画的に進めていく必要がある。廃止措置は長期にわたることから、技術及びノウハウの円滑な継承や人材の育成を同時に進めることが重要であり、解体・除染により大量の放射性廃棄物を発生させることから放射性廃棄物の処理・処分と一体的に検討して取り組むことが必要である。保全学会では廃止措置を保全活動の一環と捉え、廃止措置中の安全確保に係わる保全技術や放射性廃棄物の安全な処分技術について学術の発展を通して社会に貢献することに努めている。

保全学会西日本支部が主催する本セミナーでは、廃止措置研究に係わる活動として、福井県敦賀市の日本原子力研究開発機構で培われた廃止措置研究の紹介と、西日本地域における電力会社による廃止措置事業の現状について紹介する。廃止措置技術の中で特にクリアランス技術に着目し、放射能濃度が基準値よりも低い廃棄物の再利用やクリアランス技術や制度の現状について紹介する。

2. 日時 令和3年10月5日（火）13:00～16:40

3. 場所 Web会議（Webex）

4. 内容 プログラム（別紙）

5. 対象 日本保全学会会員

6. 参加費 正会員・支部会員 12,000円（税込）、
非会員 15,000円（税込）、
学生会員・学生非会員 1,000円（税込）

7. 申し込み 参加ご希望の方は参加申込書（別紙）にご記入の上、お申し込みください。（締切9月28日）。

西日本支部事務局（石井）west.com@jsm.or.jp

以上

一般社団法人日本保全学会西日本支部主催
「廃止措置に向けた取り組み（廃止措置の現状とクリアランス）」

日時 令和3年10月5日（火）

場所 Webinar（Webex）

（司会） 福元謙一（福井大）		
13：00 -13：10	開会挨拶	支部長 堀池 寛（大阪大〔前〕）
13：10 -13：40	原子力機構の廃止措置経験と今後の計画	井口幸弘（JAEA）
13：40 -14：10	ふげんにおける解体作業	石山正弘（JAEA）
14：10 -14：40	ふげんのクリアランスの現状と課題	橋本和彦（JAEA）
14：40 -14：50	ブレイク	
14：50 -15：20	クリアランス金属の溶解再利用に向けた取り組み	榊村英孝（TVE）
15：20 -15：50	関西電力における廃止措置への取り組み	原茂樹（関西電力）
15：50 -16：20	敦賀一号炉における廃止措置への取り組み	小野弘之（原電）
16：20 -16：50	総合討論 今後の廃止措置のあり方	
16：50 -17：00	閉会挨拶	副支部長（）